

けんぽんちゃくしよくぶつねはんず
19. 絹本著色仏涅槃図

■ 指定日

昭和60年3月26日

■ 種別

兵庫県指定有形文化財 絵画

■ 年代

鎌倉時代

■ 所在地

朝来市山東町楽音寺
(姫路市本町 兵庫県立歴史博物館寄託)

■ 所有者

楽音寺



■ 内容

死期を悟った釈尊は、弟子を伴って跋提河辺の沙羅双樹の林に入り、最期の教えを説いた。頭北、面西、右脇下に臥し、満月の夜半涅槃になると、衆生は非号し、天地も諸山大海も震動したという。時に紀元前383年2月15日と伝える。

唐筆とあるが筆者は不明、相当損じてもいるが激越にも過ぎず静穏に描かれたなかに、鎌倉期らしい古調を帯びた秀作といえる。